

■新型コロナウイルス感染症の5類移行後の対応について

令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが、5類に移行致しました。これを受けまして、面会自粛を解除致しております。詳細については下記の通りとなります。

記

1. ご面会は3名までとさせていただきます。入館時に面会バッジをお渡し致しますので着用願います。お帰りの際は、1階事務所カウンターにて返却ボックスを用意してございますので返却ください。
2. ご面会の出来る時間帯は午前9時00分から午後4時00分までです。予約の必要はございません。
3. 1回の面会時間に制限はございません。尚、飲食はご遠慮願います。
4. 面会場所の制限はございません。居室・共有スペース共にご利用ください。
5. 入館中はマスクの着用をお願い致します。また面会の前の検温、手指消毒にご協力ください。手洗いに關しては個人の判断に委ねます。尚、検温にて、37.5度以上ある場合、入館及び面会はできません。
6. オンライン面会については、中止とさせていただきます。

以上

※上記は今後の状況の変化に応じて変更する可能性があります。予めご了承ください。

■リハビリ通信



訪問リハビリでは利用開始前に当施設の医師の診察が必要になります。当施設へ来所が難しい方の場合のご自宅に伺うことも可能です。お気軽にご相談ください。サービス提供日は月曜日から土曜日(午後のみ)となります。皆様の在宅生活がより豊かなものとなるようにスタッフ一同、全力でサポートさせていただきます。

■スタッフブログ

編集後記

広報誌だけではお伝えする事が出来ない施設での取り組みや、日々の行事等を載せています。是非一度下記 URL にてご覧下さい。



<https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>

今回から私が広報誌の編集を担当させていただきます。いづみが行っていることを皆様にしかりお伝え出来るように精一杯発信して参ります。今後とも宜しくお願い致します。

編集責任者 高井 康孝



いづみのホームページ <https://www.kokoro.or.jp/izumi-care/>



介護老人保健施設いづみケアセンター



〒355-0807 埼玉県比企郡滑川町和泉 873
TEL:0493-56-6123 FAX:0493-56-6124

私たちが果たすべき役割とは何か



事務課長 高井康孝

令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になり、それまで政府主導の感染対策が求められていた状況も個人や事業者の判断が基本となることが打ち出されました。いづみケアセンターでは5月8日をもって面会を再開させて頂きました。早速面会に訪れたご家族と利用者様が再会を喜び合う場面を見ると、こちらまで嬉しさがこみ上げて参ります。遠い過去の様に思えてしまいますが、コロナが流行る3年前まではご家族が来所して利用者様と過ごすことは当たり前の光景でした。当たり前に出来ていたことが出来なくなるという状況はとても寂しいことでもありましたが、同時に大切なことに改めて気づかせてくれる機会にもなったように思います。

さて、この度私は6月16日よりリハビリテーション課から事務課へと異動致しました。これまで私はリハビリテーションの専門職として、利用者様の生活に関わらせて頂いておりました。「どうしたらこの方は元気になって頂けるだろうか」と介護や看護の職員と一緒にケアに携わる仕事にはとてもやりがいを感じておりました。車椅子で移動されていた方が歩けるようになり在宅へ戻られる。胃ろうで栄養を摂取されていた方の「食べたい」という思いに応じて経口摂取を目指す。利用者様の思いが叶うことが、私達職員にとっても一番の喜びです。そんなケアの現場を経験できたことは、私にとって大きな糧となっております。これからは、施設の運営という視点で利用者様の生活を支えていくことが私の役割だと考えております。私たち老健は利用者様の在宅復帰を目指し、在宅で暮らす高齢者の生活を支える施設だと位置づけられております。さらには、リハビリテーションの提供から看取りの対応まで幅広く関わらせて頂いております。これからも老健として、これらの役割をしっかりと果たしていきたいと考えております。今後の日本は少子高齢化が進み、介護の担い手不足が予想されております。それでも私たち老健が役割を果たしていくためには、やはり「人」の力が欠かせません。事務課として人の採用を進め、人材の活用を考えることは喫緊の課題です。物価高にも負けない経営、そして災害への備えを行っていくこともまた重要です。介護を取り巻く情勢は様々な変化がありますが、いづみケアセンターが地域の皆様のお役に立ち続けられるように、事務課として施設運営に尽力して参ります。

今後も当施設の取り組みに深いご理解と温かいご支援を賜ります様、宜しく願い申し上げます。

中庭での園芸活動



中庭にて利用者様と共に野菜苗や花苗の種まきを行いました。中庭に出ると利用者様自ら動き出し雑草を抜いて苗を植え付けてくださいました。「花は好きで、昔はよくやったよ」と笑顔で話してくださいました。

通所課 梅ジュース作り

今年も恒例となっている梅ジュースを作りました。毎年、いづみの中庭で採れた梅を使って作ります。

甘酸っぱい梅ジュースはとても好評でした。夏の暑さを梅ジュースを飲んで乗り切りましょう！



いづみカフェ開催

昔懐かしいクリームソーダはいかがでしょう。豆から挽いた香り豊かなコーヒーもどうぞ。ご利用者様もご満悦でした。



菖蒲湯でくつろぎの 一時を過ごしました

恒例企画の季節の湯。今回は端午の節句に合わせて菖蒲湯を行いました。大きな湯船に鮮やかな緑が良く映えます。肩こりや腰痛など効能も様々。湯気に浮かんだ菖蒲を眺めながら皆様それぞれにリラックスした時間を過ごして頂けました。



地域の元気づくり教室の開催 ～認知症の理解～

5月29日に今年度1回目となる地域の元気づくり教室を開催しました。テーマは「認知症の理解」。当施設の作業療法士が認知症についてのお話をさせて頂きました。職員と参加者の意見交換をするグループワークも行いました。今後も地域の皆様のお役に立つことが出来るよう企画を実施していきます。是非お気軽にご参加ください！



老健大会の演題発表で最優秀賞を受賞！

演題名「関りが難しい利用者の排泄介助に関する一考察」



荒船会長との記念撮影

今年2月に行われた埼玉県介護老人保健施設大会にて演題発表を行いました。その大会で発表した入職2年目の榎戸亜海さんが見事、最優秀賞を受賞致しました！老健大会は世の中に自分達の取り組みを発信することができる貴重な場です。そこで得られる学びもまた貴重です。これからも自信をもって日々の取り組みを発信し続けられるよう誠心誠意仕事に励んで参ります。

フランスの国際大会で銅メダル獲得！

フランスのヴィシーで開催されたスポーツ競技大会「グローバルゲームス」に介護職員の森田和裕さんが参加しました。結果は、トラック競技の「5000m」「10000m」の2種目共に銅メダル！！本当におめでとうございます。これからも大いなる活躍を期待しています！！



■森田 和裕さん(生活ケア部入所課 介護職)
○10000m【32分42秒】 ○5000m【15分11秒】